

寒 冷 地

水田の後作と裏作の飼料作り

暖 地

一 どんな作物がよいか

○暖かい時期に播けるもの（発芽最低温度六〇度）
デントコーン、ひまわり、スレダングラス、ソルゴー、

二 水田後作には次のものを

東北地方の北部では降雪も早く困難ですが、東北の南部
北陸では、かぶ、レープ、C・Oの苗仕立移植によって、
水田後作でも相当量の飼料生産が期待できます。
かぶの移植は葉数の多い下総かぶが有利です。

三 水田裏作には次のものを

寒冷地の水田裏作として、どこでも安全に作付されるものはライ麦とレープです。さらに短年生牧草のフィールドブローミングラスも有望です。従来の紫雲英安全部では、ライ麦、レープ、青刈えんばく、イタリアンライグラス、Hワーンライグラス、コンモンベッチ、ヘヤリーベッチ、かぶ、ルタバガ等が適します。

三 水田裏作の飼料増産の力

※播種はなるべく早く、稻刈取後の耕起栽培がよい。
※耕起の出来ない時は立毛中播きを。中播は落水後二日で播種、稻刈取後直ちに速効性肥料の追肥を行ない株張りをよくします。
※麦類や、ライグラスにはベッヂ類、または耐寒性えんどうオーストリヤンの混播を。（播種量七貢下段参照）
※菌核病による冬枯れ、雪グサレ防止のため、降雪直前か、積雪一〇キロ位までに消石灰二〇～三〇キロか、水銀粉剤三キロ程度の散布が必要。作物が草丈三〇キロ近くも伸びるような時には、なるべく早くローラーで鎮圧し根の伸長を促すことが必要。
※肥料は窒素過多を避け、磷酸とカリ分を充分に。
※冬期間の凍土のあつた場合は融雪早々に踏みつけ（麦踏みのように）を行なって根の定着を促すこと。
※春の追肥は早く、できれば液肥でやること。

二 水田裏作飼料増産のためにはイタリアンラングラスを!!

○冷涼になつてから播くもの（発芽最低温度一〇度）
えんどう、ベッヂ、レンゲ、えん麦、ライ麦、ライグラス類、クロバーレ類、その他牧草類、ルタバガ、かぶ、レープ、C・O、ケール等。

種子の貯蔵と高温多湿	
トピック	種子は高温、多湿条件下にさらされると往々、発芽力の低下を来たすことがあります。出来るだけ、冷所に乾燥状態に保存して下さい。
湿度六六%	湿度八一%
湿度九二%	湿度九二%
（供試品オーチャードグラス）	湿度によつてこんなに発芽率に差があります。

九八七月
月二二三
五八一三
日日日

六六七八三

一一五〇三

一五七三
五〇二三

利用してほしい優良種

寒冷地裏作用に

ライ麦（ペトクーザー四倍体）

葉茎は巨大で多収、初期生育旺盛、耐寒性強く、早春の起生も早く、広葉の草を生産してくれます。

フィールドブローミンググラス

根雪期間一〇〇日以上、零下一〇度以下の気温が時々ある地帯でもよく冬を越し、早春の萌芽も早く、草丈はライ麦の半分位ですが、分けつけ旺盛でライ麦以上の収量があり、寒冷地ではイタリアンに代る優良種。暖地でもイタリアンの充分生育しない様な乾燥地では本種の試作を。

暖地向の品種

イタリアンライグラス（一年生・越年生）

早春から刈取りができ、少なくとも二~三度刈りができる最も作り易く、多収な越年牧草。暖地の酪農になくてはならぬ優秀な牧草です。

マンモス・イタリアン（一年生）

いずれもライグラスの四倍体で、葉茎共に巨大。再生力も旺盛で三〇~四〇%増収される優良品種。

マンモス・ペレニアル（三~四年生）

冬のルーサンと言われ冬作にはクリムソンクロバーに決して劣らず、しかも茎の硬化がなく嗜好の良い一年生も科牧草、再生力も旺盛で一シーズン四~五回刈取りができる優良種、特に西南暖地におすすめします。

バーシームクロバー（エジプシャンクロバー）

冬のルーサンと言われ冬作にはクリムソンクロバーに

水田前後作と裏作飼料栽培基準表

地区	利用型式	科別	必要生育温度	作物名	播種期(月令)		量(10ha當り)(kg)	種法	混播相手(10ha當り)(kg)	播種量
					前	後				
東北北部及び北海道					東	北	南	部	以西(ただし、高冷地を除く)	
寒地・高冷地 (=毛作地帯)	二及び 反期	東 作 北 部 と 南 部			晚 期 い ね の 前 後					
					春 ま き	秋 ま き				
十字花科	まめ科	いね科	いね科	いね科	同	同	同	同	早期いね跡	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
レーブ C.O	ハイ ブリ ベ ツ チ	フィ ール ド ブ ロ ー ム	ラ イ ベ ツ チ	紫 丸 か ぶ	八 上 下 九 中 五 七 五	八 下 上 九 中 五 七 五	一 五 三 〇	一 〇 下 一 一 下	九 中 一 一 上	八 下 一 一 上
耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき	耕起まき
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五	八 上 九 中 五 七 五

備考

一 施肥標準(10ha当りキロ) いね科(デントコーンを除く)、硫安三、過石一五、硫加八、十字花科、きく科、デントコーン、硫安三、過石一〇、硫加八

二 脲幅株間:麦類……三三歩の条播または散播 かぶルカバガ……五六歩×二六步~三三步、ひまわり、デントコーン……四〇步×一六步 牧草類は主として散播、時には三〇步×条播